

2012年10月26日

第664回 本委員会の主要議題と概要

日本化学繊維協会

日本化学繊維協会（会長 坂元 龍三 東洋紡株式会社 代表取締役社長）は、本日11時より第664回 本委員会を開催しました。

主要議題およびその概要は以下の通りです。

1. 特別委員会の2012年度活動方針

特別委員会（通商委員会、広報委員会、調査委員会、技術委員会、環境・安全委員会の5委員会）の2012年度事業計画について報告がありました。

2. 発信事業について

「日本化繊産業の先進性と先端繊維素材の未来社会への貢献」をテーマにした新たな発信事業に取り組むことを決定しました。

日本の化繊業界は、製品輸入の増加による生産量の縮小、中国を代表とする新興国の拡大とキャッチアップなど厳しい局面が続いていますが、一方で、環境、安全・安心意識の高まりで日本の化繊産業が得意とする先端繊維素材が注目を集め、需要拡大期を迎えています。

このような状況下、現在進めている化繊協会のあり方検討において、今後協会に求められる機能として、

- ①会員各社が進める先端繊維素材の優位性を高める為の、技術開発、商品開発、市場開拓努力をサポートし、日本化繊産業の継続的な発展を図ること、
 - ②日本化繊産業の先進性を強くアピールし、世界の先端繊維素材開発のセンターとしてのプレゼンスを不動なものとする事、
 - ③加えて、社会全般に日本化繊産業が環境への適応性を有し、新しい時代を開く未来型産業であることを広く告知すること、
- が掲げられております。

このような会員ニーズに対応するため、化繊協会では今年度活動方針に「発信事業」を掲げ、イベント内容の具体化について検討してまいりましたが、このたび、

発信事業実行委員会を設置してシンポジウム、及びこれに関連したイベントを計画し、来年のできるだけ早い時期に実施することを決定しました。

同イベントは、炭素繊維協会、繊維関連学会、繊維評価機関等とも連携してオールジャパンの体制で開催することを目指します。

イベント内容等詳細については確定次第ご報告させていただきます。

3. 第 18 回中国国際化学繊維会議の概況について

9月6日（木）～7日（金）の2日間、中国の浙江省杭州市にて、第18回中国国際化繊維会議が開催され、その概要について報告がありました。

中国国際化学繊維会議は中国で開催される化学繊維の国際会議であり、1985年の第1回北京国際化繊維会議（第9回より中国国際化繊維会議に名称変更された）から数えて18回目の開催となります。

今回は、中国、日本、欧州、インド、韓国、タイ等の代表者からの現状報告およびフォーラム、3つのテーマ別分科会、2つの技術フォーラムが開催され、中国からは中国紡織工業連合会・王天凱会長、許坤元名誉会長、中国化繊工業協会・端小平会長、中国国内の大手化合繊メーカーの代表など約600名が参加しました。

今回の会議テーマは、「高コスト時代の中国化繊産業の持続的な発展」であり、中国紡織工業連合会・許名誉会長より「転換期を迎えた新たな成長戦略」についての講演があったほか、端化繊協会会長の司会・進行によるフォーラムでは「高コストの時代の化繊産業の競争力強化と持続的発展の実現」をテーマに、産官学連携、川下業界との協力による需要開拓、一貫生産による企業の競争力強化などの視点で様々な議論が行われました。日本からは、初日の総合セッションで、小川専任副会長（当時）より、日本の化繊産業の現状と見通しのテーマで講演を行いました。

4. 第 51 回ドルンビルン国際会議の概況について

9月19日から21日の3日間、オーストリアのドルンビルンにおいて、第51回ドルンビルン国際化繊維会議（主催；オーストリア化繊協会）が開催され、その概要について報告がありました。

本会議は、①欧州繊維産業の研究開発に関わる産学交流、②川上（素材）～川中（テキスタイル）～川下（最終製品）の情報交流の場として、1962年以降、毎年ドルンビルンで開催されています。

今回は、ドイツ、オーストリア、スイスなど計30カ国、761名（昨年674名）が参加し、日本からも帝人、東レ、クラレ、東洋紡、旭化成、カネカ、化繊

協会、メディア関係者など 20 名が参加しました。

今年度は、新しいファイバーの開発、自動車用ファイバー／テキスタイル、環境保護、医療用途、テクニカル不織布など 7 テーマ、114 件の発表が行われ、日本からは、帝人、東レ、クラレ、旭化成より計 8 件の発表がありました。

5. エコプロダクツ展 2012 への出展について

12月13日（木）～15日（土）の3日間、東京ビッグサイトで国内最大規模の環境展「エコプロダクツ 2012」（主催：（社）産業環境管理協会、日本経済新聞社）が開催されます。

化繊協会では、帝人、東レ、クラレ、東洋紡、旭化成、ユニチカ、三菱レイヨン、セーレン、ダイワボウの9社が共同で「化学せんいでスマートライフ！グリーンな未来に貢献する化学せんい」のテーマで出展します（東展示場 4 ホール/小間番号 4-028）。同展示会への出展は 2004 年から続けており、今回で 9 回目となります。

①節電、②省エネ、③水環境の3つのコーナーを設け、従来の“実物展示・体感・実験型ブース”に“教室”としての機能・役割を追加し、より詳しく・分かりやすく、見学者の理解や関心度合を高めてもらうことを目指します。

6. その他

【参考資料】

- ① 最近の繊維産業の動向
- ② 2012 年 9 月度の化学繊維生産・在庫の概況（速報）

以上